2023年度

やればできる、やれば上がる。

合格体験記

報徳学園進路指導部発行

はじめに

合格体験記発行に寄せて

校長　元田 利幸

この体験記を手にする皆さん、ここには人生の夢や目標に向かって
邁進する報徳学園生の姿が凝縮されています。

毎年、国公立大学、難関私立大学をはじめ、医学系や体育系の大学など、令和４年度の卒業生が様々な夢を勝ち取るまでの経過がつづられています。日々目標に向かって歩み続けた生徒諸君の軌跡です。

体験記を寄せてくれたのは、新型コロナウイルス感染症により、本校入学前から仲間と大切な思い出をつくる諸行事が延期・縮小、最悪中止となり、高校生活の３年間、自粛や様々な制限を余儀なくされながら、それぞれの目標に向かって粘り強く歩み続けた生徒諸君たちです。

なぜ、頑張り続けられたのか？もちろん、ご家族の皆さんや先生方の存在もあったでしょう。放課後、自主学習スペースでサポートしてくださる方々の支えもあったでしょう。
彼らは報徳学園という学び舎で共に学び汗した級友や仲間、出会った方々と共に過ごしたことこそが大きかったのだと思います。何気ない日常を過ごせることが実はとても有難いことであると自覚した諸君でした。学習も部活動も、学校という場があり、そこに共に学び汗する自らに厳しい仲間がいたからこそ、精神的にも成長できたのです。

だからこそ、大学入試共通テスト受験を経て、国公立大学入試に最後の最後まで頑張ることができたのです。

報徳学園では希望者を対象に、平日の放課後に時間と場所を提供する自学自習スタイルの金次郎 STUDEO と講座形式の金次郎 SEMINAR を実施しています。土日や長期休業中も登校し、こつこつと取り組む姿もあります。そんな彼らの多くが希望を叶えています。

この体験記を糧に、受験勉強・進路開拓に励み、未来を切り開いていきましょう。
そして、いつの日か、これを読んだあなた自身が手記を寄せてくれる存在になってくれることを心から期待しています。

目　次

			進学先	
足立　歩望	（私立報徳学園中学校）	〈Ⅲ－10〉	京都大学	…… 2
井上　創太	（私立報徳学園中学校）	〈Ⅲ－10〉	京都大学	…… 2
影山　稜真	（私立報徳学園中学校）	〈Ⅲ－10〉	京都大学	…… 3
園　　和幸	（私立報徳学園中学校）	〈Ⅲ－10〉	神戸大学	…… 4
久保田諒太郎	（私立報徳学園中学校）	〈Ⅲ－10〉	防衛大学校	…… 4
中村　悠人	（西宮市立今津中学校）	〈Ⅲ－7〉	広島大学	…… 5
北村　　凪	（大崎町立大崎中学校）	〈Ⅲ－7〉	島根大学	…… 5
貝田　陸大	（私立報徳学園中学校）	〈Ⅲ－9〉	鹿屋体育大学	…… 5
川口　寛人	（西宮市立上ヶ原中学校）	〈Ⅲ－10〉	兵庫県立大学	…… 6
小寺　海輝	（私立報徳学園中学校）	〈Ⅲ－10〉	兵庫県立大学	…… 6
中堂　　大	（芦屋市立山手中学校）	〈Ⅲ－10〉	兵庫県立大学	…… 6
佐川　瑠依	（私立報徳学園中学校）	〈Ⅲ－9〉	福知山公立大学	…… 7
田口　道大	（西宮市立苦楽園中学校）	〈Ⅲ－7〉	県立広島大学	…… 7
森田倫太朗	（豊中市立第十四中学校）	〈Ⅲ－2〉	早稲田大学	…… 8
榊原　七斗	（高砂市立松陽中学校）	〈Ⅲ－6〉	明治大学	…… 8
ジョーンズ日光	（世田谷区立千歳中学校）	〈Ⅲ－6〉	青山学院大学	…… 8
堀川　陽来	（西宮市立甲武中学校）	〈Ⅲ－4〉	立教大学	…… 9
植浦　慎仁	（芦屋市立精道中学校）	〈Ⅲ－4〉	法政大学	…… 9
山口　万葉	（私立報徳学園中学校）	〈Ⅲ－1〉	関西大学	……10
細目　尚秀	（私立報徳学園中学校）	〈Ⅲ－8〉	関西大学	……10
大畑　涼河	（西宮市立甲武中学校）	〈Ⅲ－8〉	関西学院大学	……11
西村陽太朗	（京都市立加茂川中学校）	〈Ⅲ－4〉	同志社大学	……11
萩原　海禄	（神戸市立鷹匠中学校）	〈Ⅲ－2〉	同志社大学	……12
小河原裕貴	（伊丹市立天王寺川中学校）	〈Ⅲ－3〉	立命館大学	……12
大橋　駿斗	（神戸中華同文中学校）	〈Ⅲ－5〉	立命館大学	……13
足立　周門	（尼崎市立立花中学校）	〈Ⅲ－3〉	近畿大学	……13
宇田川晃希	（豊中市立第十五中学校）	〈Ⅲ－4〉	近畿大学	……14
松井　秋人	（西宮市立苦楽園中学校）	〈Ⅲ－6〉	近畿大学	……14
古田　　結	（私立報徳学園中学校）	〈Ⅲ－7〉	近畿大学	……14
溝上　隼史	（三田市立狭間中学校）	〈Ⅲ－1〉	甲南大学	……15
辰己　蒼真	（宝塚市立御殿山中学校）	〈Ⅲ－2〉	甲南大学	……16
松本　一輝	（西宮市立甲武中学校）	〈Ⅲ－5〉	甲南大学	……16
寺田壮志郎	（私立報徳学園中学校）	〈Ⅲ－9〉	龍谷大学	……17
曽我部佳史	（私立報徳学園中学校）	〈Ⅲ－6〉	追手門学院大学	……17
白尾　直輝	（私立報徳学園中学校）	〈Ⅲ－7〉	大阪工業大学	……18

合格体験記

京都大学

数学研究部
私立報徳学園中学校出身
Ⅲ－10　**足立 歩望**

1.　６年間の思い出

僕は中高の６年間を報徳で過ごしました。僕が在籍していたⅡ進、特Ⅱコースは少人数だったので担任の先生や教科ごとの先生との距離が近く面倒見がとても良かったと感じています。クラスメートも自分の好きなことを突き詰めている人たちが多く刺激的で自分に合っていたなと思います。

2.　進路を決めたいきさつ

志望校を京大にした理由は関西で一番偏差値が高いからです。東大も考えていた時期もあったのですが入試問題の難易度とボーダーの高さで断念しました。また、同じクラスに京大志望の友達が２人いて「あいつらが目指すんなら目指してみるかあ」みたいなノリで決めました。京大を目指しだした時期は明確には覚えていないのですが、大体高２の春から夏の間だったと思います。

3.　勉強方法

僕が意識していた勉強法はとにかく苦手を作らないことです。勉強を進めていくうえでわからないことがあれば自分で調べるなり、人に聞くなりして絶対に放置だけはしないようにしていました。また僕は理系ですが京大の理系科目、特に数学に不安を感じていたので共テ後はほとんど数学に時間を費やしていました。得意教科を勉強することは楽しいですが最低限どの教科もできるようにならなければ国公立合格は難しいと思います。

4.　入試の攻略法

まず共通テストに関してですが２次の対策をやっていれば直前期に共テ形式の問題にとにかく触れることで十分対応できると思います。ここでは記述形式の入試あるいは模試の科目別対策について書くことにします。国語はまず文章を通して筆者が伝えようとしていることを把握することが第一です。あとは要素の入れ方を参考書や模範解答を参考に身につければ大丈夫です。数学は基本的な問題に対するアプローチは覚えておくべきだと思います。僕は塾の教材と青チャを併用していました。プラチカなどの実践的な問題を解くときは答えを見るまである程度時間をおくべきだと思います。英語は単語をまず入れましょう。僕は学校の勉強以外でした英語の勉強は単語ぐらいでした。理科は塾の教材と重問、名門を２周～３周しました。あとは２次の問題の特徴に合わせて過去問ベースでやっていました。

5.　最後に

巷ではよく効率の良い勉強法などを謳う YouTuber などが散見されますが僕的にはまず量をこなすことが必要だと思っています。量をこなしていくことで自分なりの質の良い勉強法が確立されていくと思います。しかし一番大事なのはやはり健康です。寝れるとき寝ときや～です。

京都大学

数学研究部
私立報徳学園中学校出身
Ⅲ－10　**井上　創太**

志望校について

・はっきりと京大を目指し始めたのはたしか中３の終わりごろで、京大理学部は必修の授業が少なく自分の学びたいことが学びやすいという話や、京大は自分より上の学年向けの授業でも取ることができるというという話を見たのがきっかけでした。

勉強法など

総　論

・世の中にはあまたの勉強法がありますが、河野玄斗が言っているから正しいわけでも浪人生が言っているから間違っているわけでもありません。結局は自分に合うかどうかなので、鵜呑みにせず実践と反省を繰り返して取捨選択してください。以下の私の話も同様です。

・計画は往々にして崩れます。n 時間勉強するつもりが n/2 時間しかやらなかったり、1 時間に m ページ進めるつもりが α m（$0<\alpha<1$）ページしか進まなかったりします。修正できる能力を磨きましょう。

・自分のミスは蓄積して見直してください。ノートやメモ帳のようなものでもいいですが、私は複数ポケットのあるクリアホルダーに紙を入れる方法がはまりました。

・神大までは努力で行けるが阪大以上には才能が必要という言説を目にしたことがあります。んなもん一概に言えるわけありません。今の自分に手の届きそうな神大をキャップにするための言い訳にしか見えません。理解不能に見えるものがある程度勉強してから改めて見たら簡単なことだったというのはよくあることです。努力すれば誰でも東大に受かるとは言いませんが、少し上くらいはめざせるはずです。もう少し自分の才能を信じてみませんか？

数　学

・よく数学的センスとか言いますけど、あれは純に先天的なものではなく経験を積めば得られるものなので、センスがないとか言い訳してる暇があったら勉強した方が世界が楽しくなりますよ。

・ただの解法暗記を超えて数学を理解するためには問題・解答のすべての部分について「なぜ」を考えるのが良いと思います。書いてある全てのことを自分で説明・証明できるか。当たり前に使っている定理等を示せるか。問題にこ

の条件が付いているのはなぜか。なぜその変形をするのか。なぜその設定をするのか。

・上記のことをしているととても時間がかかりますがそれでいいんです。1問に1時間かけてもいいので深く理解しましょう。

・基本的なことだけでいいので論理式の扱いを知っておくと数学が理解しやすくなると思います。∀とか∃とかが出てくるやつです.

・「高校数学の美しい物語」のようなサイトを読んで知識を増やすのも効果的です。発想の幅が広がりますし、共通テストでは知識があれば瞬殺できる問題が出ることもあります。

物　理

・力学はまず力を正確に抑えましょう。力が書けるようになれば、たいていの問題は運動方程式･エネルギー保存･運動量保存の3つと，単元ごとの重要な公式さえあれば解けます。

・電流の問題はイメージを捨ててキルヒホッフの法則とオームの法則に忠実に立式しましょう。磁場の問題はほとんど力学の問題なのでかまえずに挑みましょう。電磁誘導とか交流についてはあんまり詳しくないです。すみません(>__<;)

化　学

・理論はそんなに覚えることないのでチャッと理解してしまいましょう。あとは演習です。

･無機と高分子はほとんど暗記なので直前に詰めました。プリント等で一通りの知識を入れた後は問題集を解きながら知らないことを覚えていきました。

・有機(構造決定)は経験値がものをいいます。問題を解くたびにどこを工夫すれば時間を短縮できたか考えテクニックを蓄積しました。

・物理は文字式の計算がメインですが、化学は実際の数値での計算が多いです。正確に速く計算できる能力を身につけましょう。

国　語、英　語

・わかんない(;__;)

京大受験 Tips

・受験する学部ごとに集合場所が異なりますが、キャンパスが広く地図もそんなに多くないので迷っても大丈夫なように早めに大学に着くようにしましょう。また迷ったらすぐに近くの職員っぽい人に聞きましょう。

・昼休みに折田先生像を見に行くと落ち着きます。

・試験開始の20分ほど前から諸注意や問題配布が始まるので余裕をもってトイレ等を済ませ着席するようにしましょう。

京都大学

私立報徳学園中学校出身
Ⅲ－10　**影山稜真**

おはようございます、私は特色入試（学校推薦型選抜）で京都大学工学部電気電子工学科に合格しました。特色入試とは、学校からの推薦書と、志望理由・活動実績・大学で学びたいことに関する書類、また共通テストの点数を評価してもらう入試方式です。私の志望した学科の共通テストの最低必要点数は5教科7科目で約8割でした。

中学の時は陸上部、高校の時は美術部に所属していて、高校三年の時は自彊会の書記をしました。

1.　進路を決めた経緯

高二までは、コンピュータを学べてかつ家から通える範囲でできるだけ偏差値の高い京都大学に行けたらいいなと漠然と思っていました。高三になってコンピュータの中でも特に量子コンピュータを学びたくなり、いくつかの大学の研究室を調べてみたら、京都大学が一番良いと思いました。

2.　日頃の勉強

私は勉強の予定を立てる時、達成したい目標をできるだけ詳細に考えていました。例えば、「ベクトル」をできるようになりたいと思ったら、自分が達成したいことが「ベクトルの計算に慣れること」なのか「ベクトルの典型問題の解法を覚えること」なのかを明確にするというようなことです。自分が何をできていないかを細かく見てみることで、やるべきことがはっきりし、無駄を省けて勉強時間を削減できました。私は青チャートをやる際、全部ではないですがところどころ計算をとばしながら答えの流れを確認していました。多少計算の練習をとばしすぎて、後に自分の計算の遅さに困ることもあったので、皆様はお気を付けください。

3.　特色入試でアピールした活動

コロナ禍の休校期間でプログラミングを始め、情報オリンピックに出場しました。また、プログラミングを用いた経済の論文や、コンピュータについての論文を書いてコンテストに提出しました。少しだけ賞を獲得できましたが、華やかな実績はあまりありませんでした。しかし、それぞれの活動から得られたことを文章にまとめ、コンピュータを学びたいという自分の意欲を一貫性をもって大学に示せたことが良い結果につながったと思います。

4.　科目ごとの勉強法

二次試験は受けていないので、共通テストまでの勉強についてです。古文は苦手です。

物　理

教科書を何度も読み、重要問題集を数回解き、共通テスト予想問題集を二回ずつ解きました。教科書を全部覚えようとしたら大変なので覚えようとはせずに、とりあえず一回はすべて読んで理解していきました。教科書を全部読むのはおすすめです。学校の教科書で難しかったら易しめの参考書でもよいと思います。

化　学

教科書を何度も読み、重要問題集を数回解き、共通テスト予想問題を二回ずつ解きました。化学の教科書は何回も読みました。

無機・有機の色は、ネットで全部まとめてくれているPDFを見つけて暗記しました。

数　学

青チャートと数ⅠA･ⅡBの理系プラチカを何回か解き、共通テスト予想問題集を二回ずつ解きました。数学Ⅲスタンダード演習もやりました。解法を覚えることをメインでやりすぎて、計算の速度があまり成長しなかったので、共通テスト数学には少し苦労しました。予想問題をたくさん解くことで最後まで間に合うようになりました。

倫理政治経済

旺文社の「倫理政治経済の集中講義」という参考書を何回も読み、学校でもらった共通テスト問題集をやりました。最初は参考書の用語を全部覚えようとしていましたが、よ

く考えたらマーク式の試験で用語を一言一句暗記する必要がないことに気付き、内容を理解することに重点を置くようになりました。あと、参考書が分厚すぎたので、人の名前とその人に関連する用語を羅列しただけのプリントを自分で作り覚えやすくしました。ただ、これは既に何回も参考書を読んで用語の意味や全体の流れを確認した後だから効果があったのだと思います。

国　語

現代文は、共通テストの予想問題とセンター試験の過去問だけやっていました。解説をよく読んで、どうして間違えたかをよく考えていました。

古文は、単語を覚えるのが苦手でしたが、共通テスト間近に桐原書店の「重要古文単語 315」という素晴らしい単語帳を見つけて古文単語の暗記が楽しくなりました。しかし共通テストまで残された時間が足りなくて、十分に覚えられませんでした。

漢文は、句形を覚えて問題をたくさん解きました。

5.　最後に

私は京都大学の特色入試は、もの凄い実績がないといけないのではないかと思っていましたが、様々好きなことに熱中していた自分の意欲と能力を大学はちゃんと評価してくれました。もし機会があれば一般入試だけでなく特色入試のような受け方も考えてみてはどうでしょうか。

神戸大学

私立報徳学園中学校出身
Ⅲ－10　**園　和幸**

1.　進路を決めたいきさつ

高校２年次の夏、一橋大学の YouTube にて学生のパネル討論を見たとき、こんな学生になりたい、こんな学生と一緒に学びたいと思ったのが一橋大学を目指したきっかけでした。そのまま過去問等、勝負できるまでにはなりました。が、共通テストで失敗、709 点、リサーチはＤ判定でした。実際、想定の範囲内ではありましたが、安全志向、現役重視で同じ旧商業大学の神戸大学に決めたというのが進路を決めたいきさつです。まあ、一橋でも多分受かってましたけどね（負け惜しみ）。

２．　勉強方法

全ての科目の学習で意識していたことは、数日または数か月あけての復習に加えて、わからなかった問題、概念に出会った後、その次の問題等終えた後にさっきの問題どう解くんだっけといったように、短期的な復習を頭の中で行うことです。これと長期の復習でかなり記憶に定着させることができました。

加えて、数学について、河合塾の講師が言っていたことで大切にしていたことが、数学の正しい学習方法は「現象そのものをあるがままにみる」「基本に遡る」「計算を着実に進める」ということです。例えば、数列であれば問われているのがどういう数の並びなのかを手を動かして観察し、そこから一般項で攻めるのかドミノ式で攻めるのかを決定し、合理的な計算結果を導き出す、といった感じです。これらを意識して演習すれば入試問題で何をすればいいのかわからないといった状態を減らせます。

３．　入試の攻略方法

高校２年生の春休みまでに全教科一周することをお勧めしますが、高校２年生までしっかり遊ぶことも大事だと思います。高校生活の後悔は大抵高校３年生の後半になって起こるものです。後悔しても受験勉強が忙しくなり、遊んでいる余裕はありません。

持論ですが、入試は解ける問題を解くものです。つまり知らない問題を無理に正解するように時間をかける必要は全くありません（思考力を問うものは別ですが）。受験勉強は解ける問題をどれだけ増やせるかの勝負だと思います。やり切ったと思えるまで知識を増やしてください。

一応、お伝えしたい頑張り方は書いたつもりなので、言わせていただきます。頑張れ！

防衛大学校

私立報徳学園中学校出身
Ⅲ－10　**久保田　諒太郎**

最初に、私が受験に向けてやったことで、「良かったこと」「後悔していること」を書こうと思います。

「良かったこと」は特Ⅱに入りレベルの高いクラスメートと出会ったことです。私は、中学１年生からの６年間この報徳学園に通って、最初はⅠ進から中学３年の時にⅠ進選抜になり高校２年生の時に特Ⅱに上がりました。特に、特Ⅱに入る時は、特Ⅱのクラスメートに知り合いは少なく、勉強もついていけるのだろうかと不安でいっぱいでしたが、クラスメートのレベルの高さに触発されて、ますます勉強するようになり成績も上がりました。なので、上の学力のクラスに入ろうか迷ってる人は、勇気を振り絞って、ぜひ前に進んで欲しいと思います。他にも、小テストや定期テストで高い点数を取ろうと努力していたことも受験勉強を進める上で良かったことです。

次に「後悔していること」です。後悔していることは沢山あるのですが、特に後悔していることを書いていこうと思います。最も後悔していることは共通テスト前の生活と勉強の仕方です。私は共通テストの前、過去問や予想問題を解いてばかりでアウトプットだけをしてインプットをしておらず、成績がそれほど伸びませんでした。焦る気持ちはわかりますが、みなさんはしっかりインプットをして欲しいと思います。そして、私は共通テストの前日緊張で全く眠られず、テストで 100% の力を発揮できませんでした。みなさんは自分が眠られるタイプの人なのか、眠られないタイプの人なのかを把握して、もし、眠られないタイプだと思ったら、前日に運動をして体を疲れさせるなどの工夫をしてみてください。

次に、私の経験を元にみなさんにやって欲しいことを書こうと思います。

一つ目は、本格的な受験生になるまでに効率的な勉強方法を見つけることです。本格的な受験生になると、とにかく勉強しなければという焦りが生まれて、効率性を追求できる余裕はないと思います。なので余裕があるうちに効率的な勉強法を見つけ、楽に成績を伸ばしてください。

二つ目は、苦手科目の克服です。苦手科目は苦手になる原因があると思います。私は苦手科目に時間を得意科目よ

り使っていなかったので苦手になり、苦手だからやりたくなくて時間を割かず、より苦手になるという悪循環に陥ってました。なので、苦手の原因を突き止め、なるべく早く苦手を克服してください。特に、国語、数学、英語の苦手を無くさないと大学の選択肢の幅が狭くなるので頑張ってください。

三つ目は、休憩時間を決めることです。勉強する時間を決めるのではなく、休憩時間を決め、他の全ての時間を勉強時間にすると、自然と勉強時間が増え、成績も伸びたので、みなさんにもぜひやって欲しいと思います。

最後に、みなさんが沢山勉強し、後悔のない選択ができることを祈っています。

頑張れ、受験生!!

広島大学

西宮市立今津中学校出身
Ⅲ－7 **中村　悠人**

ここには私がやる気の出ないときにどのようにして机に向かったかを述べていきたいと思います。

例えば今、自分が社会に出たとしてどうやって生きていくのか、あるいは生きていけるのか。そのことを考えたときに今の自分は何も出来ないということを自覚し、ならばどうすればよいのかと考えると、大学に行って勉強をして知識や技術を身に着けなければならないという事に行き着きました。今のままではいけないという危機感を持ったのです。こうして意識を受験に向け、やる気が出ない時でもなんとか勉強に取り組むことで、合格することができました。

島根大学

ソフトテニス部
大崎町立大崎中学校出身
Ⅲ－7 **北村　凪**

ここに私が島根大学理学部数理科学科に受かるまでの過程を残したいと思います。まず、私がこの学部を受験しようと思ったのは高３の夏です。では、高１の時何をしていたかと言うと実は何もしていません。平日は学校で授業を受け、家ではゲーム、土日祝日は１日中家でごろごろしていました。この習慣は高２になっても変わりませんでした。この時は一切焦っていませんでした。ですが高３の初めに受けた模試で偏差値が53しかなくて少し焦りました。そこからは苦手教科である国語、英語をやろうと決意しました。結局英語はやる気が起きなくてできませんでした。国語はどのようにして勉強したかというと、友達に聞きました。その甲斐あって国語の偏差値は50前後におさまりました。そこで滑り止めに私立大学を探し京都産業大学の一般３教科と立命館大学の共通テスト利用３教科を受けることにしました。どちらも英語、数学、理科１教科（物理選択）だったので数学と物理の点数を伸ばすことにしました。勉強法としては共通テストの過去問が少なかったので各予備校が出している共通テスト予想問題を解きました。共通テスト対策は以上で終わりです。そこからは島根大学の２次試験のために数学をしました。そこでは主に標準問題精講と理系の良問プラチカを解き、たまに上級問題精講を使っていました。そして私立大学の結果は京都産業大学は受かり立命館大学は落ちました。ここで受験に向けて私の考えを書きます。試験当日に近づくにつれて徐々に焦りは大きくなっていくと思います。その焦りをバネに試験当日自分の力の100％を出せる人は素晴らしと思います。ですがそうでない人もいます。そこで私は思い切って試験前日は勉強を何もしない方が良いという人もいると思います。どちらかと言えば私は後者です。極論を言うと十人十色なのでそれぞれに合ったやり方を見つけるのが一番です。なので私のやり方も候補の１つとして考えてみてはいかがでしょうか。

鹿屋体育大学

柔道部
私立報徳学園中学校出身
Ⅲ－9 **貝田　陸大**

私は中学から報徳学園に在籍していました。その中で６年間柔道部に所属していました。柔道部は、非常にハードな部活で朝練も毎日ありOFFは月に１回あるかないかでした。しかも私は家から学校が遠く通学にとても時間がかかってしまい家に帰るのはいつも22時でした。このような状況で私は、文武両道をやっていました。とにかく隙間時間を大切にして毎日の通学で単語帳や教科書を開いて勉強したり、休み時間を使って勉強したりしました。これらを習慣化させることが、とても重要です。ですが勉強をすることを習慣化させることは難しいので単語帳を開くことから習慣化させることが大切です実際に私がそうでした。勉強しようと思ってするのはしんどいので、何も考えずに単語帳や教科書を開くことから始めました。これはとても効果的で、ある程度時間が経つと自然と何も考えずに勉強しています。とにかく毎日やることが大切なので頑張って取り組みましょう。あともう一つ文武両道をしたいと思う方に伝えておきます。１番大切なのが学校の授業です。これを差し置いて他に何かするっていうのは決してあってはなりません。授業の中で分からないことや気になることは、授業後に先生に聞くか友達に聞くかして解決してください。私もそうしていました。実際に友達に分からないことをピックアップしたノートを作ってもらったり、先生が黒板で再度説明してくれたりして理解度を、深めました。本当にこの作業はやっていてよかったと思います。

受験勉強は、ひたすら金次郎studioに篭って朝から夕方まで勉強していました。復習の繰り返しでしんどかったですけど、大学に入ってからの自分を想像してやる気を出していました。でもひたすら勉強もしんどかったので私は息抜きにトレーニングしたり夜家に帰ってから深夜に走りに行ったりしていました。When you're sleeping, I'm studying. When you are playing, I am studying. When you're studying, of course I'm studying. この考えで皆さんも勝ち組目指して頑張ってくださいね!!

兵庫県立大学

囲碁将棋部
西宮市立上ヶ原中学校出身
Ⅲ－10 **川口　寛人**

この合格体験記を通して、今この文章を読んでくれている方々に対して、少しでも役に立ち参考になれば嬉しく思います。

初めに、志望校合格を実現させるには、なぜその大学・学部・学科を選択したかという動機が特に重要であると考えます。理系では学部によって研究内容や就職する業界、業務内容も異なると思います。進路学習の際に自分の将来について、深く考えてみることをおすすめします。

次に私自身のことですが、私は高校二年生までスマホのゲームを続けていましたが、大学受験を意識するにつれ、ゲームの時間を減らしていきました。このままでは後悔すると思い、ついにはログインすることをやめゲームアプリを消しました。理由は私が切り替えが苦手な性格であるということと、高校三年生になり、自分自身と向き合い、少しでも効率的に成果を上げることはできないかと考えたからです。

私は、学校では、金次郎スタジオ（自習室）と金次郎ゼミナールを利用していました。ゼミナールは放課後そのまま学校で少人数での授業が受けられて、先生に気軽に質問できたりするところも良かったです。

勉強方法については、理系科目は問題集で演習をする前に教科書をよく読み込んでから取り組むことをおすすめします。公式がどのように生まれたのかやなぜこの解き方をするのかということが大事なので、勉強時間や量よりも根本的な理解が大事だと思いました。文系科目は知識が重要になると思うので、お気に入りの単語帳や参考書で勉強することをおすすめします。また、なるべく早い段階で自分の苦手を知り克服することが大事だと思います。

最後に、大学受験は自身の学力を向上するための忍耐強さを身に付けるだけではなく、自分自身と向き合える貴重な機会だったと思います。後輩の皆様にとって、有意義な学校生活と大学受験になることをお祈りします。

兵庫県立大学

水泳部
私立報徳学園中学校出身
Ⅲ－10 **小寺　海輝**

はじめに、私の６年間の生活を通じて在校生の皆さんに伝えたい事が２つあります。１つ目は勉強時間をしっかり確保する事です。私のように受験勉強を始めるのが遅かった人やいざ勉強を始めようと思ってもやる気が出ないという人は要注意です。自分が思っている以上に勉強とは違う方向に意識をもっていかいかれてしまいます。後の勉強方法のところでも書こうと思いますが、例えば数学の特定の分野について理解はしていても、その分野の似たような問題を解いた事が無いと本番で解けないように、勉強は質だけなく量による経験が必要になります。余裕を持って勉強に取り組みましょう。

２つ目は高いレベルのクラスで授業を受ける事です。私は高校二年時に特Ⅱコースに転コースしてとても良かったと感じています。私の代の特Ⅱはレベルが高いと聞いていたので緊張しましたが、とても面白い人が多くクラスの雰囲気的にも我が道を行くスタンスだったのでとてもやりやすかったです

次に、勉強方法についてお話します。先述のように、私は受験期寸前まで勉強しましたと自信を持って言えるほどの時間勉強はしていませんでした。それでもなんとかやっていけたのは質、すなわち勉強効率のおかげだと思います。そんな私の勉強法というか考え方２つを紹介しますのでⅡ進や特Ⅱコースの人からすれば当然と思う人もいると思いますが、参考になれば嬉しいです。

１つは「なぜ？」を追求する事、もう１つは論理的に考える事について話そうと思います。

基礎的な用語を覚える段階から応用段階に変わり「なぜ？」が出てきた時、そのままにしていませんか？それでは何も分からなくなっていきます。どんなに些細な事でも疑問に思ったら突き詰めるようにしましょう。授業中に思考を放棄する時間などありません。夢の国に連れて行かれていませんか？

もう１つは論理的に考えるということについてです。これは全教科共通だと思います。基礎的な知識を土台にして結果までの過程を説明するのです。難しくなると過程を無視して暗記する人も多いと思いますが、これとこれがこういう理由で等しくなるなど、筋道立てて理解できるようになると勉強の質を高めることができると思います。特に共通テストの思考力問題はこれができるかできないかは大きな差になります。もちろん先述のように量による経験、例えば計算速度などが結果を左右する事もあるので量をこなす事も忘れずに。

最後に、受験期はつらい事も多いですが、自分を励ましながら目標に向かっていってください。応援しています。

兵庫県立大学

芦屋市立山手中学校出身
Ⅲ－10 **中堂　大**

僕は春から兵庫県立大学の工学部に進学する者です。

受験勉強のアドバイスを書くほど成績は良くなかったので、実際に受験を一通り終えて感じた反省点などをここに書こうと思います。

まず受験勉強を意識し始めたのは高３くらいで、きっかけはドラゴン桜という逆転合格を題材としたドラマでした。勉強始めたばかりの頃、勉強方法がよく分からなかった僕は参考書をひたすら買いあさる行動に走り出しました。しかしその参考書達はあまり使わず今や本棚のインテリアなので完全に失敗しました。人生の汚点です。結局使い切った参考書の８割は青チャートとリードαや重要問題集などの学校から配られるものなのでわざわざ自分で買いに行く必要はないかもしれないです。共通２ヶ月前くらいには勉強方法は確立したものの２ヶ月で成績が爆上がりすることはなく共通テスト本番を迎えました。受けてみて意

外だったのが普段の模試と雰囲気があまり変わらないことです。受ける前は凄く緊張して不安と焦りが沸騰していましたが始まってみると普段の模試と何ら変わらず、特に本領発揮出来ずに終わるということはなかったです。しかし純粋に実力が足りず目標の７割以上を下回り６割４分しか取れませんでした。そして志望校を一つ下げて兵庫県立大学を目標にして２次対策をして合格したという流れです。こうして箇条書きをするといかに共テ対策が重要かわかりますね。もちろん２次対策も大事ですが上位国立でない限り共テ勉強が２次対策になったりするので勉強何からしようか迷ってるなら共通テストの勉強がおすすめです。

失敗だらけの受験勉強でしたがあまり後悔はしていません。むしろ高校の３年間は凄く楽しく、４月から始まる大学生活はとても楽しみです。なので大学受験を重く捉えすぎずに高校生活を楽しんでもらえればと思います。がんばってください！

福知山公立大学

私立報徳学園中学校出身
Ⅲ－9　**佐川　瑠依**

私は、高校１年生の時はⅡ進コースの底辺の学力で、定期テストの勉強量は少なく、さらに今思うと、とても効率の悪い勉強方法で行っていました。(ひたすら単語だけを書くなど)　２年生から特Ⅰコースに転コースしました。そこで、塾にも入り、まずは学校の授業を理解できるようにすると、定期テストの点数が上がるようになりました。3年生から大学受験勉強を本格的に始めて、ゲームをやめ、勉強に専念しました。

私が福知山公立大学を受験した経緯は、担任の先生が提案してくれたからです。私の将来の夢は市役所に勤めることで、「福知山公立大学は、地域経済学を学ぶことができ、将来の夢と結びつくのではないか」と担任の先生から教えてくれ、その大学を目指しました。さらに、受験方式が私にあっていたからです。福知山公立大学では、得意な３教科で受験することでき、私は文系でありながら国語と英語の成績が悪かったので、数学、理科、公民で受験しました。

次に勉強方法について書くと、

数学に関しては、青チャート１冊あれば問題ないかと思います。進め方としては、解答も見ずにすぐ解くことが出来たのならば、その問題には〇をつけ、解説を1,2回見て解くことが出来た問題には△をつけ、3回以上見て解いた問題には×をつけていました。問題を解いていたら、解説を見てもわからないときがあるはずです。その時は、友達、学校の先生や塾の先生に聞き、理解し、数日経ってもう1度その問題を解いてみると学力が伸びたように感じました。あと「計算ミスは軽いミス」と楽観視せずになぜそこで計算ミスが起きたのか、どうすればミスは減るのかしっかり考えるべきです。私は計算ミスで共通テストの数学1Aを13点落としてしまったので、皆さんは本当に気を付けてほしいです。

続いて理科基礎は模試の復習が一番重要だと感じました。実際本番の共通テストでも模試と同じような問題がよく出されるからです。

最後に公民の現代社会についてですが、市販の参考書でしっかりインプットをして、過去問や予想問題などでアウトプットするといいかと思います。

受験の戦略法は、私のようにある教科が苦手で受験に使えない教科があっても大学を絞ったら、英語を入試に使わない大学もあります。どうしても自分の行きたい大学の受験で自分の苦手科目がある場合は除くのですが、得意科目だけを伸ばすこともありかもしれません。

さらに、受験の時、小論文、面接や志望理由書などは担任の先生に手伝ってもらうと上手くいくと思います。私の担任も小論文を書くとき、手厚いサポートがあったおかげで大学に合格したのだと感じているので、皆さんも担任の先生方にサポートして頂いてください。

受験勉強は大変かと思いますが、最後まで頑張ってください。

県立広島大学

バスケットボール部
西宮市立苦楽園中学校出身
Ⅲ－7　**田口　道大**

まずはじめに、私の合格は実力というよりも運の要素が大きいことを理解しておいてください。受験勉強の参考にはなりません。こんな人でも合格することがあるんだなと思って読んでもらえればと思います。

私は高校３年生の夏で部活を引退しました。それまでは定期テストだけは最低限頑張って、成績もそれなりにありました。ですが、受験勉強の方は全く手をつけていませんでした。例えば、一般的な受験生がターゲット1900を完璧にしていたとするならば、私は100個覚えたかどうか。古文単語も全くわかりませんでした。こんな状態で受験勉強をスタートしているので流石に焦りましたが、結局勉強時間が2､3時間増えた程度で今まで通り。行き当たりばったりで勉強していたので、好きな教科ばかりに時間を費やし夏休みを終えた時点で手をつけてない教科もたくさんありました。それからは指定校推薦やスポーツ推薦で学校が決まっていく子が増えて、どんどん焦り始めます。1月になって共通テストが終わるとほとんどの教科をやらなくていいという安堵感で一気に勉強のやる気を失います。特に僕は滑り止めが早く決まっていたせいか、共通テスト後の1週間程何もしてませんでした。

こんな感じで過ごしていたのにもかかわらず、合格できたのは90%以上は運だと思います。でも、先生方と話しているうちに合格できた要因はいくつか見つかりました。

一つはここ最近の受験状況です。少子化やコロナのせいで早く大学を決めたいなどの理由で国公立大学に受験しない人が増えたことです。中には滑り止めの私立に落ちたけど、第1志望の大学に合格できたという人もいました。

もう一つは誰とも競わなかったことです。模試でたとえみんなより低い点数だったとしても一喜一憂せずに淡々と自分のするべきことを続けました。実際、

共通テストの点数は国公立大学を目指す人にとっては絶望的な点数で第１志望の大学の判定もＥでしたが、こんなもんだろうと思って２次試験に望めたのが大きかったのかも知れません。

最後に、ここまで受験生を経験した私が思うのは、自分と大学についてたくさん知っておいた方が有利です。受験は情報戦なところもたくさんあります。知っていて損なことは少ないはずです。良い情報だけでなくてもヒントになることはあります。先生や友達など頼れる人はどんどん頼って目指す場所に向けて頑張ってください。応援してます。

早稲田大学

ラグビー部
豊中市立第十四中学校出身
Ⅲ－2　**森田　倫太朗**

私は報徳学園で文武両道の重要性について学びました。部活動と勉強の両立は簡単なことではないですが、一日一日の時間を工夫しながら過ごすことでそれを実現することが出来ました。まずは日々の授業を集中して受ける。そして、テスト前の自習の時間や、登下校時の電車など、短時間で集中して勉強に取り組むことで家での勉強があまりできないような時にも点数をキープすることができました。このように部活動を言い訳にして勉強をおろそかにしてしまわずに、時間を有効活用して勉強にも全力で取り組むことが大事だと思います。それが総合型選抜での入試に成功した理由だと思っています。具体的には入学時から目標の大学を決め、それに向かって努力すること、部活動とテスト勉強の両方に力を入れて取り組むことで進路の選択も広がると思います。

また、総合型選抜での入試の経験から自己分析を行うことの重要性を学びました。３年生になった春、受験に向けて自己分析を行う必要があったので、改めて自分と向き合う時間を多く作りました。そうすることで今まで見えてこなかった自分の長所や短所にも気づくことができ、新たな発見が多くありました。またその自己分析の能力を部活動や勉強にも応用することで自分の現状を正しく知ることができ、自分に合った練習や勉強を行うことが出来ました。特に部活動では、チーム内での自分の役割と自分がすべきことを明確にすることができ、個人としてのレベルアップにつながりました。

このような文武両道、自己分析というのは当たり前のことのように思えますが、できている人は少ないように感じます。特に目標を持たずに毎日が作業になってしまうことが一番勿体ないので、まずは小さな目標でもいいので意味のある努力を行うことが大切だと思います。みんなが手を抜いてしまうようなところにも全力で取り組むことが他の人たちとの差をつけるチャンスだと思うので、どんなことにも手を抜かず頑張ってください。

明治大学

硬式野球部
高砂市立松陽中学校出身
Ⅲ－6　**榊原　七斗**

私はこの三年間を通して一年生からのテストのトータルが非常に大切だと思いました。三年生になり、その重要さに周りの人たちがそこに苦しんでいることに気づき、三年生から頑張ってもなかなか上げることのできないのが内申点だと思います。だからこそ報徳の教えでもある、積小為大が非常に大切になってきます。一年生からの積み重ね、これは勉学、部活動においても同じ考えです。いくら三年生でテストを頑張ったとしてもトータルで見た時に周りとの平均差が大きいと感じました。だからこそ一年生の最初からどれだけ長くコツコツと一つ一つやれるかが大切だと感じました。

報徳での三年間で私にとって最も大きな収穫は部活動の仲間と出会えたことです。チームメイトとは仲が良く、時には負けたくないライバルでもあります。楽しい、嬉しいだけでなく怒り、悲しみなど多くの感情にさせてくれる、人としての成長に、人間力をつけるのに不可欠な存在が周りにいる仲間、友人です。指定校推薦、スポーツ推薦は志望理由書や小論文、面接を行うことになります。受験は学力だけの勝負ではないということです。しかし、学力という力は必須です。人間力を養っていかなければ受験を突破することはできないでしょう。さらに言えば、友人、仲間を大切にすれば自分が困ったときに助けてくれるはずです。自分の考えに囚われてしまった時見えるはずのことでも見えなくなることがありますが、その見えないことを見せてくれるのが、友人であり仲間でしょう。これは高校生活、部活動の中で学ぶことが私はできました。

三年間を通して周りに流されず常に前進することだけを考えることが大切です。土台を大切に基礎を固めていけばその後の結果も徐々に出始めます。一個の事だけに執着せず、周りを見て自分の克服すべき点を一つ一つ潰せば自分の行きたい大学に進学できると信じてやることが大切です。苦しい時こそ、対自分にならず周りにいる友人、仲間を大切にして自分が望む進学をできるよう、報徳生らしく頑張ってください。応援しています。

青山学院大学

ラグビー部
世田谷区立千歳中学校出身
Ⅲ－6　**ジョーンズ日光**

コロナウイルスのピーク時に高校生活を始めることは非常に困難でした。私は報徳学園高校に行くために家を出て関西に引っ越すことになりました。家族から遠く離れ、新しい友達と一緒に生活するのには大変な時期でした。高校で過ごした時間のほとんどは、教室、グラウンド、ウェイト場、または部室で友達と話すことでした。学校にいないときは、友達と兵庫を探索したり、自分で新しいことを学んだりしていました。

私が青山学院大学を選んだのは、英語の教育レベルが高

いことと、私自身幼い頃にアメリカで育ったことから英語が堪能であったからです。中学に入ってからずっとこの大学に憧れていました。渋谷にいるときに、キャンパスを見るのはいつも楽しかったです。学校の誇りとイメージも私にとって憧れでした。この学校は、英語に関しては最も注目すべき学校の１つであることもよく知られています。

私は時間を上手に使うのが苦手で、２年間ラグビーに専念していたので、勉強の計画を立てるのが得意ではありませんでした。でも、授業を受けたり、練習したり、ウェイトトレーニングをしたりして残ったわずかな時間で、勉強することができました。普段は、１ 日の残りの時間をビデオゲームで過ごしていましたが、今回は違いました。私は英語の勉強に時間を割くことができました。授業が終わるたびに休憩の合間にも英語の勉強をしていました。また、毎日寮で寝るまえに父親と英語の勉強をしていました。

青山学院大学のさまざまな入試方法を調べたところ、自己推薦があることがわかりました。 私の目標がそこで明確になりました。英検１級と TOEIC の高得点を取ることに集中しなければなりませんでした。目標を明確にし、それを達成するための道筋を立てました。私は集中力があまり無いことを分かっていたので、タイマーで時間を測って休憩の時間としっかり分けるなど、インターネットで調べた様々な方法を使い勉強しました。

大学受験を乗り超えて学んだことは、諦めないことです。どれだけ辛くても、どれだけ壁が高くても、人になんて言われようが、思われようが、絶対に最後まで自分を信じるのが大事です。とにかく自分の目の前にあることを 100％でやるのが大切です。

立教大学

硬式野球部
西宮市立甲武中学校出身
Ⅲ－４ **堀川　陽来**

私は、指定校推薦で立教大学に進学させていただくことになりました。進路を決めた経緯としては、立教大学では、英検２級が推薦条件の一つになっており、私は高校Ⅱ年の時に英検２級取得しており、高校Ⅲ年の夏休みに進路決定に至りました。

指定校推薦で大学に進学ができるということは、報徳学園と大学の信頼関係や過去の先輩の努力あってのことなので、在校生の皆さんには、そのような背景や責任をしっかり頭に入れた上で進路選択に臨んでほしいと思います。

私の報徳学園での三年間を振り返ると、勉強部活共に充実した日々だったと感じています。部活動では硬式野球部に所属し、仲間と多くの苦楽を共にしました。私は選手として上手くいかない事ばかりの日々で、常に怪我や制球難に悩まされていました。そんな時に仲間の存在に何度も救われたと思います。仲間からの励ましの声や、時には叱咤の声が自分をやる気にさせてくれました。「失敗したらどうしよう」という弱気な姿勢を振り払ってくれた仲間の存在には感謝しています。在校生の皆さんも部活の仲間、クラスの仲間と切磋琢磨し合い、人間力を磨いていって欲しいです。

勉強面では大きく定期テスト、模試、英検などの外部試験に向けた勉強をしてきました。定期テスト勉強については、進学コースの考査は基本的な授業知識が問われるものが多いので、上位になろうとしてもあまり差がつかない時があります。その中でどれだけ小さな間違いを減らせるかというところに重きを置いて、日本史（世界史）や現代社会、国語演習で出題される難しい漢字に注意を払って勉強をしていました。定期的に実施される模試では、難易度の高さにやる気が起きない人も多いと思いと思います。しかし、国語は普段の小テストで使っている問題集で基本的な漢字を徹底的に覚え、英語に関しては単語帳や参考書を購入して、基本的な部分から突き詰めることで少しずつ解ける問題が増えていきました。空欄に何か書く事で部分点が貰えることもありますし、1.2 問解ける問題が増えるだけでも偏差値はぐっと上がります。模試に関しては最初から諦めるという事をせずに、最後まで抵抗してもらいたいです。

最終的に成績を伸ばすにはどれだけ自主的に勉強に取り組めるかだと思います。嫌々勉強しても何も頭に入らないので、進路選択のために少しでも勉強しておこうという気持ちにどれだけなれるかが大切だと思います。継続、積み重ねと言われると難しいと思うので、まずは１日だけでも思い切り集中して勉強してみて欲しいです。皆さんが望んでいる進路実現のために、後悔しない高校生活を送って欲しいです。

法政大学

ラグビー部
芦屋市立精道中学校出身
Ⅲ－４ **植浦　慎仁**

私は、今年の四月からスポーツ推薦で法政大学に進学させていただくことになりました。 私は、高校三年間ラグビー部に所属し、沢山のことを学ばせていただきました。それは大きく二つあります。

一つは「文武両道」が重要だということです。スポーツ推薦はスポーツの成績がいいだけで大学に進学できる訳ではありません。定期考査の点数、授業態度、提出物など当たり前のことを真面目に取り組むことが大切です。当たり前のことを継続すれば、それは習慣になります。スポーツと同じで、繰り返し反復することで無意識にできてくると思います。そうすると自然と生活面での視野も広がります。例えば、落ちているゴミを拾うなど周りに気を遣えるようになります。無意識に当たり前のことができるようになれば、おのずと周りから応援されるような人間へと成長します。

二つ目は仲間の大切さを学びました。頼れるチームメイトは、試合に勝った時の喜びを分かち合ったり、怒りや悲

しみを共有したり、多くの感情を持たせてくれる存在でした。

私はチームメイトがいなければしんどいことも悲しいことも乗り越えることができなかったと思います。スポーツ推薦は小論文、面接など人間力を問われる試験が多いと思います。チームメイトと様々な経験をすることで人間力を高めることができます。チームメイト、友人、先生、家族、自分のことを支えてくれる人を大切にして高校生活を送ってください。

このようなことを書きましたが、周りからの目ばかりを気にせず、当たり前のことを当たり前に無意識でできるようになれば周りの目など気にせず生活できると思います。そして一つのことをひたむきに素直に努力することで、私は大学に合格することができました。今後自分がどのような人間、スポーツ選手になりたいかを考え逆算してみてください。そうすると自分の現状や目標まではっきり見えてくると思います。一分一秒無駄にせず毎日を送り、ひたむきに素直に取り組むことが志望大学合格につながると思います。報徳生らしく頑張ってください。応援しています。

関西大学

硬式野球部
私立報徳学園中学校出身
Ⅲ－1　**山口　万葉**

私はこの度４月から指定校推薦で関西大学に進学させていただくことになりました。一般受験に向けての勉強はしていなかったので、私からは文武両道を進めていく方法をお話しさせていただきます。

私は高校３年間硬式野球部に所属していました。ほぼ毎日遅くまで練習があり、オフの日も自主練習をしたり体のケアのために通院したりと勉強時間はほぼ全く取れませんでした。しかし、自分の行きたい大学に指定校推薦で入学するには定期テストで良い点を取って上位に入らなければなりません。そのような中で私は３つのことを意識して部活動と勉強を両立して学校生活を送ることができました。

１つ目は「分からないことはその授業の内に終わらせておく」ということです。もし分からないところを全て放っておくと、その後の定期テストの直前になって新しく覚えたことが多くなり頭が混乱してしまうと思います。だから私は分からなかったところは理解できるようになるまで自分で考えるか、授業後に先生に聞きにいくようにしていました。

２つ目は「自分が１番勉強に集中できる環境をつくる」ということです。自分が１番勉強に集中できる環境というのは人それぞれ違ってくると思います。みんながやっているから自分もやらないと、と思わせられる自習室や図書館、誰もいないところで静かに勉強をしたいのなら自分の部屋など色々なところで一度勉強をしてみて自分の合う環境を見つけてみてください。

３つ目は、「他人に教える」ということです。他人に分かりやすく教えることができるということはその問題について全て理解ができているということです。逆に、教えることができないということは、その問題がなぜそのようになっているのかなどその問題を十分に理解できていない証拠になります。自分がその問題について理解ができているかを確認するためにも他人が分からない問題がある時は積極的に教えるようにした方が良いと思います。

進学コースでは部活動をしている生徒が多く勉強はテスト期間の１週間前頃からで、十分にできないかもしれませんが、この３つを意識することで、定期テストでも効率良く高得点を取ることができると思います。自分の行きたい大学、成し遂げたい目標に向かって頑張ってください。

関西大学

テニス部
私立報徳学園中学校出身
Ⅲ－8　**細目　尚秀**

僕が大学受験を意識し始めたのは高３の春でした。その当時は定期考査さえ頑張れば指定校推薦で関関同立のどれかには引っかかるという安易な考えで受験勉強的なことは全くやっていませんでした。なので英検や共通テスト同日模試の結果は散々でした。ちょっとまずいかなと思い始め、ようやく勉強を始めましたがやるのは好きな日本史ばかりでした。部活も最後までやったので本格的に勉強を始めたのは高３の６月からでした。このタイミングで関大に行きたいという意志が固くなり初めて関大の赤本を解いてみました。その時の結果としては英語と国語は５割弱ととても低い点数でした。なのでとりあえず夏の間は単語や文法などの基礎的な部分をやっていました。しかし自分の中ではどうせ指定校でいけると思い切っており、あまり勉強に熱を注いでいませんでした。そして指定校の発表当日になりその日も流石にいけると高をくくっていました。しかし結果は通っておらず。ショックでトイレに１人で突っ立っていたことを覚えています。メンタルはズタボロで３日は全く勉強に手をつけれませんでした。しかし僕にはまた勉強を始められる原動力がありました。それは正直にいうと自分の代わりに指定校でいった人に負けるわけにはいかないという強い思いでした。悔しさをバネにさらに一層勉強に時間を費やしました。まず最初はとにかく英語の文法を叩き込みました。ビンテージなどを何周もして色々な大学の過去問で演習しました。古文では学校で配られた解析古典文法で総復習しました。日本史は東進の一問一答を電車に乗っているときや休み時間をフル活用して細かい知識を頭に詰め込みました。日本史は得意だったので10月の時点ですぐに関大の過去問を解きました。12月には文法も単語も結構身についていたので関大の過去問を３教科すべて解き始めました。最初こそは合格最低点を大きく下回っていましたが間違えた問題を確実にやり直し、新しい知識を逃さずまた頭に詰め込みました。年明けには最低点あたりの点数やそれを上回る点数もとりました。そのままの勢いで僕は関大に合格しました。僕が皆さんに強く伝えたいのは僕のように逆境を強い心、思いで乗り越えることが大事だということです。強い心さえあれば勉強は苦じゃないし結果が出た時の喜びは計り知れないものがあります。皆さんもどうか逆境に負けずに、なんならそれを楽しむぐらいの気持ちを持って勉強に励み、栄光を勝ち取ってください。

関西学院大学

弓道部
西宮市立甲武中学校出身
Ⅲ－8　**大畑　涼河**

高校生活３年間で一番楽しかったことは部活動です。もちろん、僕にとって報徳学園での３年間はずっと楽しかったですが部活動は特に思い出となっています。僕は弓道部に所属していました。１年生の頃は慣れるまで少し大変で部活動に行きたくない時もありました。しかし、周りの人のおかげで楽しく部活動ができました。今でも弓道はとても難しく、自分の思った通りに弓を引くことが難しいですが、弓を引いていて楽しいことに変わりはありません。これは弓道部員、弓道を教えて下さった先生方、OB 方がいたからこそ気づくことができたと思います。私生活では休みの日は家でゲームをするか外で野球をするか友達の家でゲームをするかでした。1, 2 年生の頃は休日は勉強をほとんどしていませんでした。

進路を決めたのは２年生の冬くらいでした。それまではまだ先のことだという考えが頭から離れず、進路のことについて甘く考えていました。しかし、このままではまずいと思い始め、家にあった大学のパンフレットやインターネットを使って大学受験に関する情報を集めました。３年生になるまでに自分の進路がだいたい決まったのはよかったですが、もっと早くから情報を集めることでより広い選択肢を知り、じっくり考えることができたと思います。早く、でも焦らずじっくりと。これが自分の志望校を決めるにおいて大切なことだと思います。

僕が本格的に受験勉強をはじめたのは高校３年生になってすぐくらいの頃です。この頃には自分が受験に使う教科が英語、国語、日本史だとだいたい分かっていたのでこれらの教科を中心に勉強を進めました。ここからはこの３教科の僕が実施した勉強方法を書きます。

まず英語では学校で配られた単語帳を受験勉強を始めた時から受験本番まで毎日やりました。夏までは１日５０単語､秋までは１日 100 単語､冬には１日 300 単語やりました。単語を覚える時に意識したのは声に出すこと、読むだけの作業になってしまわないことです。単語を覚えるのが苦手な人はこの２点と「薄く広く」を覚えてほしいです。１回で完璧に覚えてしまおうとするのではなく、覚えられなくてもひたすら声に出し、回数をこなすことが一番大切だと思います。実際、１日 50 単語をしているときは 1, 2 周目はほとんど単語を覚えていませんでしたが３周目からはなんとなく覚えている単語が増えていきました。文法は学校で配られた参考書（Vintage）を２周しました。

国語は現代文の勉強では「現代文読解力の開発講座」という参考書を使いました。これを使い、問題の解き方というよりはむしろ現代文の読み方を勉強してほしいです。古文では解析古典文法を使って助動詞の復習と助詞の勉強をしました。古文が苦手な人はまずよくでる助動詞を覚え、文の主語を意識しながらゆっくり古文を読んでほしいです。この時に自分なりに簡単に現代語訳して正しい現代語訳を確認して自分の訳とくらべてほしいです。単語帳は学校で配られたものを英単語帳と同じように使いました。僕は受験勉強を始めた時、古文はとても苦手意識がありました。それまでの定期テストでも赤点が多かったです。しかし、受験勉強を始めると他の教科に比べて覚えることが少なく感じ、古文を読むときも現代語訳を読んでから古文を読むと理解しやすくて少しずつ成績も伸びました。

日本史は１番苦手教科だったのでとても苦労しました。９月までは教科書を１日 10 ページ読みました。まずは時代の流れをつかむために細かいことは覚えず、時間をかけてじっくり読むことを意識しました。1, 2 年生の授業をしっかり聞いていればこの勉強の仕方はいらなかったと思い、効率も悪かったですが、これをしたことによって秋以降の語句の覚えが楽になりました。この時期は教科書を声に出してひたすら読んでいました。日本史は教科書を中心に暗記を進め、冬は問題を解くことを中心に勉強を進めました。

最後に受験勉強は体力的にも精神的にもダメージが大きく、とてもしんどいので心が折れてしまうことがあると思います。そういうときは無理に勉強せず休んでください。疲れを溜めすぎると集中力が落ち、勉強が続かなくなります。思うように成績が伸びず、落ち込んでしまうことがあると思います。周りの人を思い出してください。僕は家族、親戚、友達、後輩、たくさんの先生方に応援されていることに改めて気付き､また頑張ろうと思えました。自分に合った勉強方法で毎日勉強していれば受験本番の直前までずっと伸び続けます。一番大切なのは自分はこの大学に行くんだという気持ちを持ち続けることです。

同志社大学

バスケットボール部
京都市立加茂川中学校出身
Ⅲ－4　**西村　陽太朗**

私が伝えたいことは、進路について皆さんが考えているより、1. 2 歩早く進めるということです。進路のことを後回しにして生活していると、時はすぐに過ぎてしまい、進路について考える時間が無くなってしまいます。そして、進路とは自分が進む路であるので、自分の意思、目標を、自分で定めなければなりません。進路についてもう注意深く意識しておいてください。

私は、同志社大学の入試方法として、小論文試験、面接というものがありました。小論文と言われても最初は何が正解で、何を書けばいいのか分かりませんでした。そこで高校Ⅱ年の三月から小論文について自主的に勉強し始めました。小論文は、スポーツ推薦や、AO 入試で取り扱われることが多く、実際に、皆さんの中でも経験する人が多くいる思います。私が高校Ⅲ年を過ごしてきて思ったのが、小論文や試験に向けての対策を始めるのが遅いということです。恐らく推薦で受けると必ず合格できるという気持ちから、そのような安易な考えになってしまうのでしょう。確かにスポーツ推薦などは、合格率が高いのは事実です。しかし、実際に不合格になるケースもあります。したがって、合格の可能性が高くても、小論文は、時間をかけて取り組むべきだと思います。私は三月から対策を始め、何度も私の学部にあったテーマを探し、ひたすらに書いていました。小論文を勉強して感じたことは『慣れ』が必要だということです。最初は八百字でもなかなか書けなかったです。しかし、繰り返し書いていくことで、少しずつ自分の思考が固まり、スラスラと書けるようになりました。しか

し、ただ慣れるまで書くというわけでもありません。小論文を書く上で、自分の知識も高めなければなりませんでした。そのために朝のテレビニュースやスマホでニュースを確認するなどして、知識を増やしていきました。

皆さんにも小論文を書かなければならない時が必ずきます。この春からでも間に合います、知識を増し、語彙力を高め、思考を文章で表現できるように日々努力を重ねましょう。これからの努力が、一年後あなたを幸せにしているでしょう！

同志社大学

剣道部
神戸市立鷹匠中学校出身
Ⅲ－2　**萩原　海禄**

努力を諦めない

僕が大学に一般入試で合格できたのは、諦めない努力だと思います。もともと僕は勉強を全くしたことのない人間でした。中学時代の成績はオール２で、高校時代の模試で偏差値50以上とったこともありません。そんな僕が大学受験をしようと思ったきっかけは、ある挫折があったからです。報徳学園へはスポーツ推薦での入学だったので、受験勉強もほぼ経験しないまま、ひたすらクラブ活動に打ち込んでいました。先のことは特に考えておらず、就職か推薦で大学に行くものと考えていました。そんな最中にコロナの影響でクラブ活動もままならなくなり、部活に対する熱意も失われてしまい、深く悩む日々が続きました。悩むところまで悩んでいると、「ピンチはチャンス」なのだと考えることにしました。目標を、現状のままであれば到底たどり着けないであろうレベルの高い大学に、自分の力で入ると決めました。そこからは毎日金スタの自習室に通い、まずは英検受験に取り組みました。僕は一つのことに集中してしまう性格なので英検２級に３ヶ月ほどで合格できました。それが自分にとって大きな自信につながり、受験勉強を開始しました。しかし、勉強を始める時期が遅かったので現役合格には間に合わないと思い、浪人を選択しました。そして親に初めて塾に通いたいと懇願し、アルバイトをする条件で通い、毎日欠かさず８時間程度勉強しました。その結果、受験した大学すべてに合格する事ができました。僕みたいな人でも、本気で努力すれば目標は達成できると証明することができたと思いますので皆さんも何事も諦めずに頑張って下さい。そして自習室でお世話になった先生方に心から感謝いたします。

立命館大学

テニス部
伊丹市立天王寺川中学校出身
Ⅲ－3　**小河原　裕貴**

私は一般入試で立命館大学に合格しました。私が受験勉強を始めたのは高２の２月ぐらいです。勉強を始めた時の偏差値は40台もなく、第一志望の大学には程遠い偏差値でした。私のクラスでは一般受験をする生徒が10人もいなく、本当にやっていけるのか、心配もありました。しかし、後悔のない受験生活を送ろうと心に決めていなので、朝のホームルームや休み時間、隙間時間があればすぐに英語の単語帳や古文の単語帳を見ていました。

ここで教科ごとに私が使っていた参考書や勉強方法を話したいと思います。

［**英語**］

受験において英語は１番重要な科目です。私は特に英語が苦手だったので初期の頃は勉強時間のほとんどを英語に費やしていました。具体的に使った参考書は、

・単語帳（ターゲット1200,1900など）３年生の夏休みまでに１週間400単語ペースで完璧にする
・文法書（scrambleなど）の特に文法、語法を徹底
・長文（ポラリスなど）文法や単語がある程度固まってきたら１日１問は解く
・速読英熟語で毎日音読をする

以上の事を主に行ってきました。この時、気をつけて欲しいのが順番です。必ず単語帳→文法→長文の順番で勉強しましょう。英語の基礎は単語を固める事です。単語もわからないのに長文だけ読んでいても英語は伸びません。暗記ばかりで大変だと思いますがとにかく毎日英語に触れると必ず成績が上がるので頑張ってください！

［**国語**］

国語はその日の調子によって点数が上下する科目です。しかし、習得すると点数のブレが減り、武器になる時もあります。具体的に、

・現代文参考書を解き、間違ったところなど解説を読み、もう一回解き直す。
・現代文で出やすいキーワードなどを覚える（現代文キーワード読解がお勧め）
・古文単語帳一冊を完璧に
・古典文法を全て完璧に
・古文読解を押さえる

以上の事を主にしてきました。現代文や古典はやり込みが大切です。たくさんの文章に触れる事で、見たことある話や、似たような文章が何度も出てきます。

［**日本史**］

日本史は選択科目の中でも暗記量が膨大です。

日本史で１番やってはいけないのが、単語だけを覚えること。大切な事は時代の流れに関連づけて出来事を覚える事です。また、難関大では教科書に詳しく載っていない問題も出るので、一問一答や、単語の資料集も使う事をお勧めします。

［**志望校対策について**］

志望校対策をするのに１番大切な事は赤本を解く事です。10年間ぐらい解きました。この時、大切な事は間違えた問題に対して解説を読み、英語の文法を間違えたならば、文法の参考書を読み、日本史の単語を間違えたならば、日本史の参考書でその時代をやり直す事をお勧めします。また、赤本だけでは足りないのならば、○○大の英語や、関関同立の日本史など志望校対策のできる参考書を使いましょう！

ここまで勉強方法などを書いてきましたが、１番大切な事は努力する事です。私は受験勉強を始めて、平日は６時間、休日は10時間以上勉強し、成績が伸びず、苦しいこともたくさんありましたが、諦めずに続けたことで第一志望の大学に合格することが出来ました。これまであまり勉強してこなかった自分からすると合格したことが信じられませんでした。自分の可能性を信じて、最後まで挑戦した事は大きな自信になりました。努力が報われるよう皆さん頑張ってください！

立命館大学

サッカー部
神戸中華同文中学校出身
Ⅲ－5　**大橋　駿斗**

私は決して勉強が好きな学生ではありませんでした。私は報徳学園に入学し、好きであったサッカーに取り組みました。平日は家に着くのは９時以降、土曜日や日曜日も自由な時間は多くはありませんでした。そのため高校１年生の頃の私は部活を言い訳にし、毎日の勉強を怠ってばかりでした。しかし、定期テストを終え通知表を受け取る度に、周りの生徒との差に驚きを感じていました。周りの友人も同じサッカー部で毎日同じ練習をしているのに、自分とどんどん差が離れていくのを実感していました。私は２年次の前期中間考査での結果を見て、このままでは将来なりたい自分や、自分の行きたい大学に行けるはずがないと自覚を持ち、部活を言い訳にすることなく電車通学の隙間時間に毎日１教科ずつ勉強をしました。テスト週間は毎日金次郎スタジオに行き時間が許す限り勉強をしました。そして次の期末考査では順位を 100 位上げることに成功しました。私はこれまで、勉強で達成感を得るということを経験したことがありませんでした。しかしこの事がきっかけになり、勉強はした分だけ自分に返ってくると信じ、努力は裏切らないと感じる様になりました。私は部活を引退した後３年生の６月から毎日塾に行き受験勉強をするようになりました。毎日５時間以上勉強をという生活に、最初は慣れず逃げ出したいと思ったこともありました。しかし先程述べた経験のおかげで、努力すれば必ず志望校に合格できると信じ、辛い時や遊びたいと言う気持ちも抑え受験勉強に取り組みました。その結果私は無事志望校に合格する事が出来ました。

私が受験勉強をする上で最も大事だと思うことは、努力は必ず返ってくると信じる事だと思います。私は順位を大きく上げたことでその実感を得ることが出来ましたが、皆さんは同じ経験がなくても、例えばスポーツの大会で優勝した時や模試の偏差値が上がった時など必ずその裏には努力があったと思います。努力なしでは結果は着いてこず、努力すれば結果は遅かれ早かれ着いてきます。私は、勉強が好きか嫌いかではなく、嫌いであっても自分の努力を信じ最後までやり切ることが出来る人が志望校に合格出来る人だと思います。

近畿大学

弓道部
尼崎市立立花中学校出身
Ⅲ－3　**足立　周門**

今回合格体験の依頼をいただきましたが、これからする話は失敗談として書かせてもらいます。

僕はもともと３年生の４月ごろに早稲田大学を志望していました。毎日必死に勉強していましたが、10 月ごろに受けた模試で、苦手だった英語が思うように伸びておらず、英語の勉強をほとんどしなくなり、日本史と国語に時間を割いていました。その結果、ほとんどの大学で得点調整されて大幅に点数を下げられ、ほとんどの大学が不合格になってしまいました。下記３点は僕が、実際に感じたことをアドバイスとして書きたいと思います。

1.　苦手をきちんと潰すこと

１つや２ついくら過去問で合格点を取れたとしても、どれか一つでも欠けていれば意味がありません。関関同立や MARCH レベルになってくると全教科に得点調整を課すところがあるので、満遍なく高得点を取ることが求められます。得意な科目を伸ばすこともちろん大切ですが、ある程度伸び切ってしまうと、そこから伸ばすのに倍以上の努力が必要になります。なので、苦手科目などの基礎固めから勉強するほうが、成績が上がりやすくなると思います。

2.　過去問や模試をしっかり分析すること

本格的に過去問を始めたのが１月半ばと遅かったので、受ける大学の問題の特徴をあまり把握できていませんでした。そのため試験を受けた時に、どこから解くべきなのか、どこを捨て問にするのがいいか分からずに受けてしまって、試験時間に全然間に合わないこともありました。

なので、大雑把でいいので１年間の計画を立て、いつ赤本を解くのかを決めておいた方が良いと思います。そして、解いた赤本は必ず分析してください。苦手を見つけて対策したり、時間配分を確認したりして、色々な状況を想定して試験に臨めば、普段通りの実力が出せると思います。

3.　自分の可能性を信じること

勉強を始めた頃、友達にも親にも馬鹿にされることありました。「早稲田なんて無理だ」「1 年間勉強しても受かるはずがない」毎日そんなことを言われました。それでも結果はダメでしたが、最終的には、国語と日本史は偏差値 70 前後まで伸びて、過去問でも７割以上取れる時もありました。

だから、もし今の学力が志望校に全く届いてなかったとしても、一年の頑張りで結果は必ず変わります。最後まで悔いの残らないようにやりきって、頑張った経験をこれからの一生の財産にしてください。

近畿大学

豊中市立第十五中学校出身
Ⅲ－4　**宇田川　晃希**

私は指定校推薦で中学生のころから目指していた近畿大学に進学させていただくことになりました。私は部活動に入らず、クラスにあまりなじめない高校生活でしたが、気にかけてくださる先生もおり、そんな方々に恩返しがしたいと考え学校生活を過ごしてきました。今回は、おすすめの勉強方法とコツ、三年生になるまでにしておくべきことの二点について紹介したいと思います。

最初に一つ間違いなく言えることは、授業でやったことはその授業中に少しでも頭に入れておくということです。これは、部活動を行っている生徒は特に当てはまると思います。部活動があると放課後はもちろん休日、祝日、夏休みなどの長期休暇の時間が大幅にそがれてしまいます。ただでさえ勉強に当てられる時間が短いにも関わらず授業を聞かずに何も頭に残っていない状態だと、また一から教えてもらうこともできない中、理解しようとしなければならず、大変な事になってしまいます。学年上位の人はしっかりと授業を聞いていました。そして授業と同じくらい重要なのは、英単語の小テストです。しかし、ただ前日に小テストの範囲を覚えるだけでは、あまり効果は出ません。大切なのは復習です。

例えば、私は間違えた問題があれば帰った後、その部分を復習していました。そして二日後に再度、同じ範囲を覚えているのか確認し、忘れてしまっている箇所があれば、そこも復習していました。ここまで私は二点勉強のコツについて書いてきましたが、一番伝えたいことは、どんな事でも有効活用するべきだということです。授業や小テストであっても、活用すれば短時間でより沢山のことを学べ、部活などに時間を割くことができるからです。

次に私が考える高校三年間でやっておくべきことは、資格の取得です。資格を取得すると、いざ進路を決めるとなった時に、選択の幅が増えるからです。推薦条件の一つとして有利な英検は、特に取得すべきだと考えます。さらに資格習得を目標にすると、必然的に取得に向けて対策を行うようになるので、定期考査や模試とは違ったモチベーションを持つことができ、やる気が向上します。

以上のことを頭の片隅に起きながら学校生活を楽しんでみてください。

近畿大学

ゴルフ部
豊中市立第十五中学校出身
Ⅲ－6　**松井　秋人**

私が１年生、２年生に伝えたいことは３つあります。

１つ目は、進路について早めに考えておくことです。私が進路について最も悩んだことは、学部、学科選びや、どこの大学に進学するかという選択をすることです。私が大学進学について真剣に考え始めたのは、高校３年生の前期でした。しかし、今思うともう少し早い時期から考えておくべきだと思いました。なぜなら、高校３年生になると部活動や勉強がとても忙しくなるからです。

２つ目は、わからないことをわからないままにしないことです。私はわからないことがあれば、授業後に先生に聞きに行ったり、家に帰って復習したりしていました。これをするだけでも小テストや、定期考査の点数は大きく変わると思います。

３つ目は、日々の積み重ねです。これは１番大切なことだと思います。定期考査前だけ勉強するのではなく、１つ１つの小テストや、授業に集中して取り組む姿勢が定期考査の結果につながると思います。しかし、毎日勉強することは大変だと思います。なので、私は小さい目標を作り毎日勉強していました。例えば、私は英語が苦手なので毎日単語を勉強したり、資格の勉強をしたり、学校の勉強だけでなく自分で目標を作り勉強することを継続することで毎日勉強することができました。これは、部活動でも同じことがいえると思います。部活動でも、いきなり難しいことをやれと言われてもできないと思います。しかし、自分に合った目標を作り徐々に達成することができれば、必ず難しいこともできるようになると思います。

そのようなことを続けていくことで、定期考査でも良い成績を収めることができると思います。その結果が今につながっているのだと思います。

報徳生は部活動をメインに考え生活している人が多いと思います。毎日疲れると思いますが、小さなことでもいいので積み重ねていくことが大切です。１日２４時間は全員が平等に持っています。その時間の使い方が自分の目指す場所につながってくると思います。自分の目標に向かって一生懸命頑張ってください。

近畿大学

水泳部
私立報徳学園中学校出身
Ⅲ－7　**古田　結**

私は近畿大学農学部生物機能科学部に合格したため、合格体験記を書かせていただくことになりました。

結果から言うと私は最後の最後に近畿大学農学部後期日程の追加合格でした。

つまり公募入試、一般前期Ａ日程、Ｂ日程に落ちてさらに共通テストも失敗しました。

私は中学から報徳でしたがまともに勉強せず、中学は赤点まみれで正直かなりピンチでしたが、高校に上がれたの

で勉強をしようと思ったのですが、それでも勉強をせず文理でわかれたあとの高２のテストで最下位らへんをさまよっていて高３でもそうでした。

私は高３の７月まで水泳をしていて、ちょうど夏休みに入るタイミングで大学受験の勉強を本格的に開始しました。ですが、まともに予習復習をしていなかったせいか、数学は高１の範囲から理科は高１から勉強しなおしました。

そして公募⇒一般前期⇒一般後期の順で試験があって、これらの勉強と自分の失敗を踏まえて、これを読んでいる人に伝えたいことがいくつかあります。

まずは模試でＥ判定や偏差値30でも偏差値50の大学に受かるということです。

判定や偏差値は周りの受験生との優劣をつけるためのはかりにしかならなくて、その模試と大学の試験とでは出題傾向や問題の出し方が異なってくるので「偏差値がとどかないから」や「Ｅ判定だから」という理由であきらめないでほしいです。

次に勉強についてです。これから受験勉強をはじめようと思っている人、復習だけは必ずしてください。回数は何度でもいいです。3回でも10回でも必ず大事なところは“完璧”にしてください。解くではなく完璧です。

そうするだけで確実に成績が上がります。

実際私はこの何度も復習をしたのが12月で劇的に化学と数学の学力が向上しました。

また、必ず試験科目に苦手科目がある場合苦手科目を克服してください。

私は英語が試験科目にあるのにかかわらず、英語が苦手ですがほっていました。そのせいで公募、一般前期では失敗していました。なので必ず苦手科目は消化するようにしてください。

そしてスマホとの付き合い方についてです。

私は軽くスマホ依存症だったため親に預けていましたが意味はありませんでした。なのでスマホゼロではなく１日に「一時間しか使わない」や「寝る一時間前からは使わない」などのルールを簡単なものでいいので自分の中で決めて必ず守ってください。

最後に不合格続きなどでメンタルが削られるかもしれませんが、必ず最後までやりきってください。あきらめないでください。あきらめないことで私のように９回２アウトのようなところからの逆転は可能です。

受験生の健闘を祈ります。頑張ってください。

私が使用していた問題集

【数学】
- ○基礎問題精講１A2B

【化学】
- ○入門問題精講
- ○基礎問題精講
- ○重要問題集☆

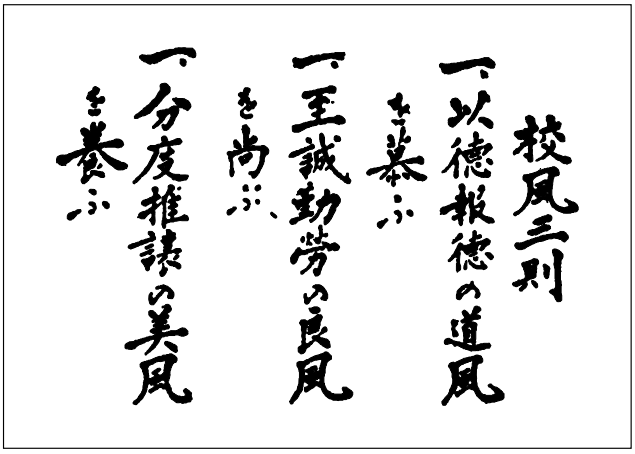
【英語】
- ○ Vintage
- ○英文解釈70

甲南大学

ラグビー部
三田市立狭間中学校出身
Ⅲ－1　**溝上　隼史**

私は、この３年間の多くの時間をラグビーに費やしてきました。そこではたくさんの経験や友達を作ることができました。３年生になり大学受験について考えるようになり私自身最初は、推薦で大学に行こうと考えていました。しかし自分の納得のいく大学には行けないと感じたので自分で勉強をしていきたいところに行こうと思いました。大学受験をするにあたって大変だったのは、部活動をしていたので勉強の時間を作ることでした。その中でまず最初に取り組んだことは、空いた時間を有効に使うことでした。通学の電車の中や休み時間などを使い勉強を続けました。勉強を続ける中で軸にしていたことは、毎日５分だけでも勉強をすることでした。実際には一日５分では勉強時間は足りないのでなんとか時間を作ることがとても大変でした。部活動が終わり家に帰ってからの時間を見つめなおしました。夕食を早く食べることや、スマホをいじるなどの時間を短縮することで１時間ぐらいの時間を作ることができました。休日は部活に行くまで勉強をし、帰ってからも勉強をすることでそれなりに勉強することができました。時間を作ることは誰にでもできることなので、やろうと思えばできると思います。時間も大事ですがそれよりもさらに大切だと思ったことが勉強の質です。２時間適当に勉強するよりも１時間集中するほうが効果があるなと実感しました。

自分でする勉強だけでなく、学校の授業にも今までより集中するようになったと思います。特に現代文など自力では勉強しにくい教科は今まで以上に頑張りました。授業中に問題集を解くときは答えを待つのではなく、まず自分で解いてみることが大切だと感じました。そうすることで分からなかったところを集中して聞くようになり、より授業に入り込めるようになったと思います。このように勉強することで成績も伸び、勉強をする習慣もつけられたと思います。受験勉強をして得られた一番のものは、勉強をする習慣を得られたことだと思います。成績を上げることよりも大切なことだと思います。



甲南大学

陸上競技部
宝塚市立御殿山中学校出身
Ⅲ－2　**辰己　蒼真**

私は高３の夏まで部活動に励み、夏休みになってからも学校へは部活のためにしか通っておらず、指定校推薦が取れるだろうと安易に考えていました。３年間を通してやり切ったことなど部活動の他に無く、学年順位も 30 位中盤～ 40 位前半ぐらいでした。

私が一般受験を志したのはお盆期間です。高校生になる前から名が知れていた甲南大学に指定校推薦で進学しようと考えていましたが、今ひとつ現実味がなく親と相談し、夏休み前の三者面談でも担任の先生から厳しめの言葉を告げられたように思います。しかし、もう８月中旬で、春から一般受験を志しているライバルたちにとんでもない差があるという現実があり、個別塾の体験授業で相談をした時も、「甲南大学に受かるのは今からやっても間に合うかはわからない。英語長文が読めるようになれば可能性は大いに上がる」と塾長に言われ、半ば絶望したのを覚えています。ちなみに、当時の私の成績は、定期テストの成績は良いけれど模試では底辺と言っても差し支えないものでした。夏休みが終わり、やはり指定校推薦で甲南大学に行くのは厳しかったため、より本格的に勉強にのめり込みました。毎日 22 時をすぎるまで塾の自習室に籠っていました。

私が最も時間を割いたのは言うまでもなく英語ですが、具体的にしたことは音読です。みなさんはいつ日本語を習得したのか覚えていますか？　習得するというのもおこがましいですが、身のまわりの環境で幼少期に勝手に身についたはずです。言語というのは１ヶ月やそこらで身につくはずがありません。いかに流暢に読め、内容が理解できるかが英語能力向上の必須条件です。この点をまとめたものが英文音読です。スラスラ内容理解できるようになってきたのは 11 月中旬あたりだった気がします。英単語については気合いです。暗記はどの時間帯にやれば良いかとよく聞かれますが、どの時間帯もやれば良いに決まってますよね (笑)

受験勉強で成功するには揺るぎない集中力と精神が必須です。周りの友達は公募推薦で滑り止めに受かったり、共通テストが終わったりした後に燃え尽き症候群的なものに呑まれていました。私も公募推薦を２つ受けてどちらも合格をもらいましたが、魅力を感じなかったのでどちらも入金していません。このことは家族以外には言いませんでした。自分だけが自分を追い込む環境を作りこんだのが私が合格した理由の一つでしょう。今思い返せば落ちた後のことは全く考えていませんでした。よほど自信があったのか、単に馬鹿だったのかはもう覚えていません。私は甲南大学に１日程しか受かっておらず、それも合格最低点でした。１つマークが横にずれていたら、私はこの文章を書いていません。受験は運の要素も少なからず絡んでくることを身をもって実感しました。

長くなりましたが、指定校推薦を受けず、一般受験に途中参加することは本当に命懸けです。ですが、思い返せば半年間だけ勉強に特化した生活も悪くなかったと感じます。進学コースの新高３生の一部には一般受験で大学を目指す人もいるでしょう。正直なところ進学コースは一般受験に向かって動いてはいません。必ず自己管理と受験までの逆算をして、自分から能動的に動きましょう。また、推薦入試で進路が決まった人は希少な一般受験組の人を応援してあげてください。みなさんが希望の大学に合格することを期待しています。

甲南大学

サッカー部
西宮市立甲武中学校出身
Ⅲ－5　**松本　一輝**

定期テスト２週間前には金次郎 studio に行ってテスト勉強を始めていました。部活動もしていたので勉強をする時間がたくさんあったわけではなかったですが、絶対に２週間前からは金次郎 studio に行って勉強して家ではしないと決めていました。家では誘惑が多くそれに勝てる人ではなかったので金次郎 studio で集中して取り組み家ではほとんどテスト勉強をしたことがありません。自分でルールを決めて短時間で集中するように取り組んでいたので、クラスでも常に上位を取り続けることが出来ました。ですが短時間で覚らえれる量は多くはないと思います。テスト勉強もあまりしたくなくてどうしたら最低限の勉強で点数が取れるのかと考えた時に、当たり前かもしれませんが授業は寝ずにできるだけ授業中に理解して、分からないところは聞いてテストに対する勉強を最低限にしようと心がけていました。それでも僕は英語が苦手で点数もあまり良くありませんでした。授業を聞いているだけでは理解できなかったので、金次郎 Seminar で英語を部活がない月曜日の授業だけとりました。金次郎 Seminar は少人数で先生と生徒の距離も近くポイントを絞って教えてくれました。少人数なので各々のペースに合わせて教えてくれたり、次はここをやってほしいなど意見を聞いてもらいやすかったです。少しずつ自分の苦手なところが消えていきました。その結果英語も他の教科と差がないくらいに点が取れるようになりました。僕は模試があまり良くなかったのですが金次郎 Seminar へ行き英語全体の理解度が深まったおかげで、模試も英語は金次郎 Seminar へ行く前より格段に良くなりました。国語なども金次郎 Seminar に行っていれば、理解度が上がりテストや模試の点数があがっていたのかなと思うと少し後悔しています。ですが部活動との文武両道ができていたと思います。この３年間時間を無駄した感覚があまりありません。常にどちらかのことに熱中してメリハリがつけられていたと思います。そしたらどちらもとても良いわけではなかったですが、自分が納得いくまではやり切れたので良かったです。部活動をやっている人は特に時間が少ないので無駄にしないように過ごしてほしいと思います。

龍谷大学

剣道部
私立報徳学園中学校出身
Ⅲ－9　**寺田　壮志郎**

私は第一志望の大学の大学には不合格でした。

現実問題として、第一志望校合格率は約10%です。この合格率を高めるために受験勉強するのです。

私は共通テスト利用で合格した龍谷大学に進学することが決まりました。正直共通テスト利用は合格すると思っていなかったので、とてもうれしかったのを覚えています。アドバイスといっても私は大きくみて成功していないので、失敗例としてみていただき、今後の受援勉強に生かしてください。

私は中学からこの報徳学園に通わせていただきました。中高と成績はそこそこで赤点を取らなければいいかと考えながら生活していました。そうするとあっという間に受験期間が来ました。そこで、まず何をどうすればいいか情報収集から始めました。これだけは全員が必ずすべきであると思います。受験校決定も私は特にやりたいこともなく、お金が稼ぎたいという安易な理由で難関大学を志望していました。しかし思うように成績も伸びず、志望校のレベルを下げ、最終的には変えた志望大学にも不合格でした。上記のような経験から私が希望の進路先に進めなかった要因である4点を書いていきます。

1つ目は勉強に対しての危機感をあまり持てなかった点です。私は去年のこの時期に勉強を始めました。その時点でほかの受験生に対して遅れを取っていたにもかかわらず、自分ではまだまだ時間はあると考えていました。経験した身としてほんとに1年はあっという間に過ぎました。もしこれを読んでいるあなたが志望大学に合格したいのなら今すぐ単語帳を手に取りましょう。

2つ目は、立てた計画を計画通りに実行できなかった点です。2か月先などに終わらせておく課題を見通して1日に取り組むべき内容を明確にした計画は良かったと思います。しかし、途中に予期せぬ課題が入ったり、思っているとこまで進めなかったり、次の日に今日の分やればいいやと後回しにしていました。その結果がわかるとおり第1志望校不合格です。今日の分は今日しかできないと考え、必ずやり切りましょう。

3つ目は勉強する科目の順番をまちがえてしまったことです。私は受験勉強をはじめてから日本史など先に詰めてしまえと思い、英語、国語より優先して勉強する時期がありました。今これをしている方は今すぐやめてください。日本史は、暗記科目なので、早めに全体を学習しても、継続しなければ、受験直前にすぐ思い出せる科目ではなかったからです。一方で、英語や現代文は、解き方を理解するまでに時間はかかりますが、一度安定した成績を残せば、継続して高得点が取れる科目です。文系の人は英語と現代文を優先して勉強すべきです。

4つ目は英検に落ちたことです。英検は大学受験においてとても大きな武器になります。自分の好きなモンストで例えると、ヤクモ、ネオ、ルナが全員友撃、同撃、超戦型、などの状態でモンストを開始できるレベルです。わかるひとならわかると思いますがこの状態のキャラがいればほとんどのクエストをクリアできます。大学受験での英検はそれほどの効果を持つと思います。準一級があると共通テストや一般選抜での満点換算や得点加点などいいこと尽くしです。私は二級までしか取れませんでしたが、得点換算70点など万が一に対応することもできます。高1高2生は時間のあるうちに英検の勉強をしたほうがいいのではないかと考えます。

ここまで自分で書いていて誰が言っているんだ、とツッコミたくなるようなことばかり書いていますが、あくまで個人の意見なので参考程度に見ていただきたいです。正直ここまで読んでいる人はほとんどいないと思います。事実私がここまで読んでいなかった一人であり、友達もここまで読んでいる人はいなかった印象です。ここまで読んでくれた人の大学受験が成功することを陰ながら祈っています。

追手門学院大学

硬式野球部
私立報徳学園中学校出身
Ⅲ－6　**曽我部　佳史**

私は主に進学コースで一般入試の受験を考えている方に向けて3つ大事な事を話させていただきます。

1つ目は、色々な大学の入試について調べておくことです。受験の入試形態(AO入試,公募推薦入試,一般入試‥など)や受験科目、合格ライン、英検などの資格の有無などを調べておくことで有名大学だけど意外と合格しやすいという事例もあるので調べることに越したことはないと思います。

2つ目は、勉強をする習慣を身に付けることです。毎日夜遅くまで部活の練習をして家に帰ったら疲れて自主的に勉強をする気が起きない気持ちも理解できますが、少しやる気を出して5分､10分単語帳を見る。または､電車に乗っている時間や休み時間に単語帳を見る事が今後の自分へのプラスになると思って取り組んで欲しいと思います。そして、少しでも勉強をすることに慣れておくと、部活動を引退していざ受験勉強を始める時に、あまり屈する事無く始めることも出来るメリットもあるので、早い段階から勉強する習慣を身に付けておく事は大事だと思います。

3つ目は、体調を整えて入試に挑むということです。私自身も公募推薦の5日前にコロナに感染して試験を受けられなかったり、病み上がりで万全の状態で受けることが出来ず、不合格になってしまい後悔しました。実際、入試期間は、主に冬になるので体調を整えることも大事にして欲しいと思います。特に睡眠時間を削ってまで勉強すると思いますが、睡眠をしっかり確保をすることが体調管理につながります。また、集中力が持続しやすくなるので睡眠時間の確保はとても大事です。

最後に、一般入試を受ける事を後悔しないようにこれから勉強に励んでください。皆さんの第一志望合格を心よりお祈りします。

大阪工業大学

サッカー部
私立報徳学園中学校出身
Ⅲ－7　**白尾　直輝**

私は６年間報徳学園でお世話になりました。報徳学園はスポーツの環境に恵まれ、他校では経験できないことを沢山でき文武両道を全うするには大変なことが多かったのですが、今となると自分自身がとても成長できた６年間だったと思います。大学を卒業し社会に出た時に色々な壁にぶつかることがあったとしても、報徳での６年間の経験が絶対に役立つだろうと思います。私が思うように成績が上がらず悩んでいた時も、担任の先生が親身に話を聞いてくれて一緒に考えてくれました。最後の最後まで支えてくれたことや進路指導の先生からの的確なアドバイスのおかげで、前向きに粘り強く受験に挑むことができ先生方には感謝しかありません。私はサッカーを続けながら漠然と進路を考えていましたがまだ２年あるから、まだ１年あるからと甘い考えだったなと今は実感しています。しかし好きなサッカーを良い仲間と引退までやれたことには悔いはないです。その反面もっと早くから受験勉強の準備は必要だったなと思いました。なのでこれから受験する後輩達には同じ思いをして欲しくないので、私の経験や勉強法が少しでも役に立てば幸いです。

私は第１志望に大阪公立大学を選んでいました。そのため共通テストで７～８割は取らないといけませんでした。しかし私はその点数には残念ながら届かなかった為、現実的に考え私立の対策に切り替えひたすら過去問を解きました。そして龍谷大学には一般前期で合格し大阪工業大学には公募推薦では不合格となりましたが、最後の一般後期で合格することができ、諦めないでよかったなと思いました。

使っていた参考書や勉強法

【化学】

鎌田の理論化学
福間の無機化学
鎌田の有機化学

この三冊を熟読し無機と有機に関しては全て完璧に暗記していました。理論の対策は化学の担当してもらっていた先生に過去問を解いて慣れるのが一番良いと言われたので、その言葉を信じて過去問を解いていました。化学を勉強するする上で大切な事は満遍なく出来るようにしておく事です。化学の授業では有機化学の範囲が終わるのが共通テストまで１ヶ月切った冬休み前なので、もっと早く終わらしておきたいなと思う方は自分で参考書などを買って先取りしていき、高３の春ぐらいには無機も有機も１周終わらしておくと他の教科の勉強も出来ていいのではと思います。

【英語】

ターゲット 1900
Vintage
関正生の The Rules 英語長文問題集

私は英語が苦手だったためターゲットと Vintage をひたすら暗記して過去問を解いていました。関正生の TheRules という参考書は英語の長文の解説がどの参考書よりも分かり易く、これを使い出してから過去問の点数が上がり英語が前より出来るようになりました。なので長文が苦手な方は、ぜひ試してみてください。

【最後に】

私は高２ぐらいまで、何故か自分なら大丈夫だろうという根拠の無い自信を持ち、何となく勉強していました。しかし高３になると瞬く間に時間が過ぎ気持ちだけが焦りました。どれだけ短期間で集中して効率の良い勉強が出来たとしても現実は厳しいです。私は、時間の大切さを身をもって実感しました。思っている何倍も時間は足りないと思います。なので志望校合格に向けて１日でも早く計画を立て基礎からコツコツと取り組んで欲しいです。最後まで諦めず頑張ってください。応援しています。

2023 年　報徳学園高等学校　大学合格状況

2023/4/1 現在、延べ数

国立大学	
大学名	学部
京都大学	農
京都大学	理
京都大学	工
神戸大学	商
徳島大学	理工
島根大学	総合理工
島根大学	総合理工
鹿屋体育大学	体育
神戸市外国語大学	外国語
神戸市外国語大学	外国語
兵庫県立大学	工
兵庫県立大学	工
福知山公立大学	地域経営
県立広島大学	地域創生
防衛大学校	理工
水産大学校	
防衛医科大学校（1 次）	医・医
防衛医科大学校（1 次）	医・看護
防衛大学校（1 次）	19

私立大学		
大学名		合格数
関関同立	関西大学	33
	関西学院大学	21
	同志社大学	32
	立命館大学	22
産近甲龍	近畿大学	75
	京都産業大学	13
	甲南大学	19
	龍谷大学	16
摂神追桃	摂南大学	15
	神戸学院大学	77
	追手門学院大学	48
	桃山学院大学	21
関　西	関西外国語大学	14
	京都外国語大学	2
	大阪経済大学	18
	大阪工業大学	20
	大阪学院大学	7
関　東	早稲田大学	1
	明治大学	6
	青山学院大学	1
	立教大学	2
	法政大学	2
	中央大学	1
	日本大学	6

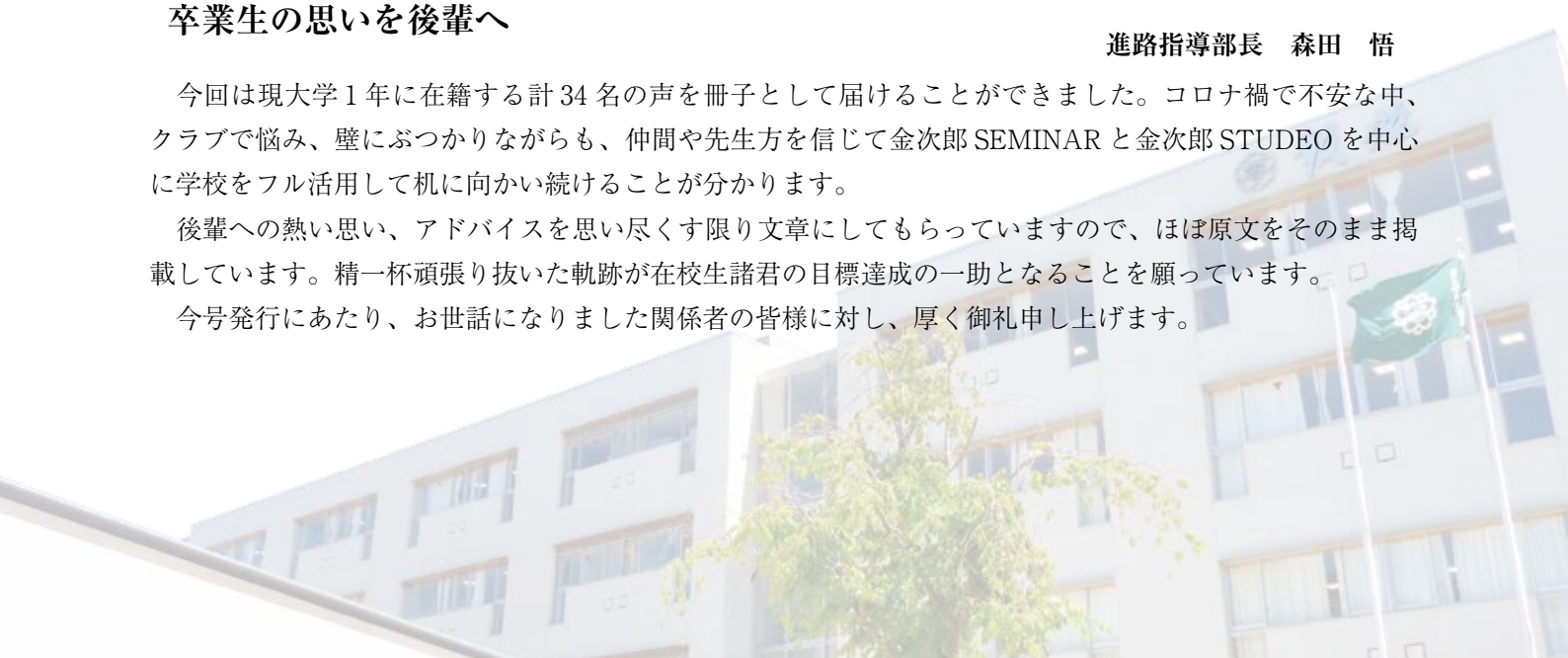
卒業生の思いを後輩へ

進路指導部長　森田　悟

今回は現大学 1 年に在籍する計 34 名の声を冊子として届けることができました。コロナ禍で不安な中、クラブで悩み、壁にぶつかりながらも、仲間や先生方を信じて金次郎 SEMINAR と金次郎 STUDEO を中心に学校をフル活用して机に向かい続けることが分かります。

後輩への熱い思い、アドバイスを思い尽くす限り文章にしてもらっていますので、ほぼ原文をそのまま掲載しています。精一杯頑張り抜いた軌跡が在校生諸君の目標達成の一助となることを願っています。

今号発行にあたり、お世話になりました関係者の皆様に対し、厚く御礼申し上げます。



報徳学園 中学校 高等学校

Ⅱ進コース　Ⅰ進コース

選抜特進コース　特進コース　進学コース

〒663-8003 西宮市上大市5丁目28-19　TEL.0798-51-3021(代)　FAX.0798-53-6332

：nyushi@hotoku.ac.jp　www.hotoku.ac.jp　報徳学園　検索